

令和3年度 PTA事業計画

月	日(曜日)	内容
4	9(金)	学友区会・常任委員選挙
	17(土)	本部役員会
5	18(火)	PTA総会
6	13(日)	本部役員会・常任委員会
7	上旬	第47回近畿地区高等学校PTA連合会大会 大阪大会(来年に延期)
	21(水)	第1回PTA通信発行
8	24(水)・25(木)	第70回全国高等学校PTA連合会大会 島根大会(オンライン開催)
10	上旬	会員研修旅行
	16(水)	湖東地域高校共同鑑賞
	19(土)・20(日)	滋賀県人権教育研究大会(栗東市)
11	3(水)	本部役員会・常任委員会・文化講演会
	30(土)	(午後)高P連湖東ブロック研修連絡協議会
12	上旬	次年度役員指名委員会
2	中旬	本部役員会・常任委員会
3	1(火)	第2回PTA通信発行

*新型コロナウイルス感染症の影響により変更することがあります。

告知
会員研修旅行(10月上旬)・文化講演会(11月3日)
お誘いあわせの上是非ご参加ください。



令和3年度 本部役員

今年度1年間、よろしくお願ひいたします。

会長	今村耕二
副会長	西川公也
幹事	高橋正樹
監査	堀 紘江
〃	西島幸江
〃	長谷川里佳子
〃	池田春美
〃	花部 栄子
〃	長沼寛和
〃	橋 円
〃	鳥田真由美
〃	鈴木真理
〃	高橋正樹
〃	今村耕二
〃	西川公也
〃	鈴木真理
〃	西島幸江

令和3年度 PTA総会開催

後援会総会・PTA冷房設備管理等委員会総会



5月18日ひこね市文化プラザにおいて、令和3年度PTA総会が開催。常任委員が承認され新体制がスタートしました。
昨年度のPTA総会等は、緊急事態宣言が発令中であり、書面での議決を余儀なくされました。今年度は感染拡大防止の対策を講じながら、無事に総会を開催できたことを感謝いたします。
青山吉伸校長は、新年度の挨拶と子どもたちに対する熱い思いを語り、各規約の改正が議題となり、次の2文が追加となる承認がなされました。

PTA総会
1学年
2学年
3学年
学年別集会

緊急時には書面等での開催も可とする。
リモート会議等での開催も可とする。
行事等の中止に伴う返金処理等について
昨年度はPTA行事のみならず、部活動や講演会等も軒並み中止。部活動関連の助成金等が余剰したため、特別支出として旧3年にPTA、後援会各会費を一部返金。旧1年、旧2年についても令和3年度の両会費の徴収額に充当し、それぞれ不足分のみ徴収とし承認を得ました。
(詳細は総会資料参照)
全体集会では本校の紹介映像の上映や、TBS安住アナがラジオで本校を「滋賀県の名門」と語った話題などがありました。学年別集会の3年生の進路説明会では、コロナ禍で昨年度は安全・地元志向だったこと、「家族の支え」と「最後まで諦めないこと」の大切さなどを話され、熱心に傾聴する参加者の姿が印象的でした。(西島)



発行所
彦根東高校PTA事務局
彦根市金龜町4-7
印刷所
フジ印刷 HIKONE
彦根市芹橋2-5-16
TEL.0749(22)5213

この度、ご縁あつて本年うれしく感じるところで、PTA会長の重責を担わせていただくことになりました。これまで皆様方にご尽力いただき、ありがとうございました。PTAは「子どもたちのために」という思いをもち、活動を続けてまいりました。PTA活動を引き継ぎ、さらに発展させられるよう、微力ながら今年度役員、先生方と協力しながら精一杯やりぬく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。
さて今年度は引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらのスタートとなりましたが、昨年とは異なり、ほぼ通常通りの学校生活を送ることができ、安堵するとともに、PTA活動の多くは中止や縮小となりましたが、そこに至る過程では、役員間でもかなり多くの議論を交わしました。感染リスクを負ってまでPTA活動を維持する必要性はあるのか?できないとしたら、その代替案は何か?関係者の負担が大きすぎるとはいえないか?等、人と触れ合い、関わり合い、認めたり認められたりする中で幸福感を味わうことができました。東鬼祭の活動とおしどり、子ども達が、仲間との演技や競技で仲間を信じて、仲間から信じてもらおうという経験を味わうことは、大きな財産となり、苦しい時やつまずい送ることも、高総文祭、夏の高校野球選手権大会も制限はあるもの、無事開催されました。昨年6月に中止を余儀なくされた東鬼祭もマスク着用や手指消毒など感染防止対策を徹底して開催いたしました。子ども達の躍動する姿と演技の後の大きな拍手は、平常のあがたさを改めて体感させてくれました。人は、

320名の新入生を迎えてスタートした令和3年度も1学期の終業時期となりました。昨年度は臨時休業であった期間も今年度は通常の学校生活を送ることができ、高総文祭、夏の高校野球選手権大会も制限はあるもの、無事開催されました。昨年6月に中止を余儀なくされた東鬼祭もマスク着用や手指消毒など感染防止対策を徹底して開催いたしました。子ども達の躍動する姿と演技の後の大きな拍手は、平常のあがたさを改めて体感させてくれました。人は、

子どもたちのいきいきと充実した学校生活のために
PTA会長 今村耕二
子ども達のいきいきと充実した学校生活を送るために、PTA活動を引き継ぎ、さらに発展させられるよう、微力ながら今年度役員、先生方と協力しながら精一杯やりぬく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。
さて今年度は引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらのスタートとなりましたが、昨年とは異なり、ほぼ通常通りの学校生活を送ることができ、安堵するとともに、PTA活動の多くは中止や縮小となりましたが、そこに至る過程では、役員間でもかなり多くの議論を交わしました。感染リスクを負ってまでPTA活動を維持する必要性はあるのか?できないとしたら、その代替案は何か?関係者の負担が大きすぎるとはいえないか?等、人と触れ合い、関わり合い、認めたり認められたりする中で幸福感を味わうことができました。東鬼祭の活動とおしどり、子ども達が、仲間との演技や競技で仲間を信じて、仲間から信じてもらおうという経験を味わうことは、大きな財産となり、苦しい時やつまずい送ることも、高総文祭、夏の高校野球選手権大会も制限はあるもの、無事開催されました。昨年6月に中止を余儀なくされた東鬼祭もマスク着用や手指消毒など感染防止対策を徹底して開催いたしました。子ども達の躍動する姿と演技の後の大きな拍手は、平常のあがたさを改めて体感させてくれました。人は、

この度、ご縁あつて本年うれしく感じるところで、PTA会長の重責を担わせていただくことになりました。これまで皆様方にご尽力いただき、ありがとうございました。PTAは「子どもたちのために」という思いをもち、活動を続けてまいりました。PTA活動を引き継ぎ、さらに発展させられるよう、微力ながら今年度役員、先生方と協力しながら精一杯やりぬく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。
さて今年度は引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながらのスタートとなりましたが、昨年とは異なり、ほぼ通常通りの学校生活を送ることができ、安堵するとともに、PTA活動の多くは中止や縮小となりましたが、そこに至る過程では、役員間でもかなり多くの議論を交わしました。感染リスクを負ってまでPTA活動を維持する必要性はあるのか?できないとしたら、その代替案は何か?関係者の負担が大きすぎるとはいえないか?等、人と触れ合い、関わり合い、認めたり認められたりする中で幸福感を味わうことができました。東鬼祭の活動とおしどり、子ども達が、仲間との演技や競技で仲間を信じて、仲間から信じてもらおうという経験を味わうことは、大きな財産となり、苦しい時やつまずい送ることも、高総文祭、夏の高校野球選手権大会も制限はあるもの、無事開催されました。昨年6月に中止を余儀なくされた東鬼祭もマスク着用や手指消毒など感染防止対策を徹底して開催いたしました。子ども達の躍動する姿と演技の後の大きな拍手は、平常のあがたさを改めて体感させてくれました。人は、

明確な目標をもって

校長 青山吉伸

子ども達はもつと上に行くために自ら考え、人と関わり、自分を目指すもの。明確にして何をしなければならぬかをしっかりと決めて、自分自身で決めたことを日々やりきってほしい。私達はそのサポート役として共に力を合わせて子ども達の成長を見守っていききたいと思います。

東鬼祭

魅せる!赤鬼魂 描け!夢への放物線

彦根東高校の一大イベントである東鬼祭、昨年度は本校にて縮小開催となりましたが、令和3年6月23日・24日・25日、2年ぶりにひこね市文化プラザ及び本校グラウンドにて開催されました。
新型コロナウイルス感染症予防のため、さまざまな制限がある中、なるべく例年に近く、これまで先輩方が築いてこられた伝統を受け継ぐ形で開催出来るよう、みなで協力し知恵を尽くしたものであり、子ども達の笑顔が輝く3日間となりました。
なかなか思い通りにいかない高校生活が続く中、こうして開催できたことは子ども達に大きな達成感をあたえ、今後大きな自信へ繋がっていくことと思います。
東鬼祭開催にあたりご尽力いただきました先生方には、心より感謝申し上げます。(堀)

東鬼祭総合優勝 4回
文化祭総合優勝 1回
体育祭総合優勝 8回



1人1台のコンピュータ端末を使い、授業などで活用する新たなスタイルの学校教育が始まっています。本校でも、1年生でパソコン端末を購入することになりました。「教育のデジタル元年」を迎え、どのようにしていくのでしょうか。日本は、OECD加盟国の中で、学校でのICT利活用が最下位であるそうです。コロナ禍において、企業ではテレワークが、そして学校ではオンライン授業の導入など、学校教育のデジタル化が進められています。しかし、実際、昨年の春の休校中では、ほとんどの学校でオンライン授業には対応できておられませんでした。教育用のコンピュータの数は、地域や学校の規模によって大きく異なっており、デジタル教育に大きな格差があります。また、学校のネットワーク環境の整備も急がなくてはなりません。まだまだ整備をされていない学校は多いようです。これは、学校だけで対処できる問題では無いかもしれません。自宅でリモート授業を受ける場合も考えられますが、その場合、家庭でのネットワーク環境が必要となってきます。デジタル教科書導入に向けた取り組みも加速化しているようです。オンライン学習システムを活用できるように、緊急時における「学びの保障」がなされ、いかなる時も、子ども達の教育活動が滞ることなく進んでいくしてほしいものです。(池田)